事故発生時の報告の取扱いについて



事故発生時の対応

【人員、設備及び運営に関する基準 第3条の38 他】

- 介護サービス事業所は、利用者に対するサービスの提供により事故が発生した場合は、市町村、当該利用者の家族、当該利用者に係る居宅介護支援事業所等に連絡を行うとともに、必要な措置を講じなければならない。
- 事故の状況及び事故に際して採った処置について記録しなければならない。

「介護保険サービス事業者における事故発生時の取扱い(標準例)」 に則り知多北部広域連合及び関係市町に報告が必要

※ 報告の取扱いについては愛知県の示す標準例に準じています。



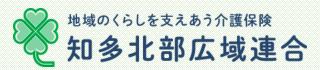
報告先及び報告方法

- ① 知多北部広域連合
- 2 被保険者の属する市町村
- ❸ 事業所が所在する市町村 ヘメールまたはFAXで報告



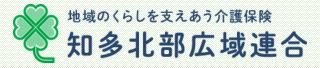
東海市にある事業所が大府市在住利用者の事故報告をする場合

- ①知多北部広域連合(給付係)
- ②大府市(高齢障がい支援課)
- ③東海市(高齢者支援課) へ報告が必要です。



報告が必要な事故

報告事項	内容	例
サービスの提供による ケガ又は死亡事故	医師の診断を受け、 処置等の必要が生じたもの	・転倒による骨折 ・誤嚥による窒息 ・誤薬による受診
食中毒及び感染症	事業所内で感染症が発生	疥癬、結核、インフルエンザ等
職員の法令違反等	利用者の処遇に影響があるもの	利用者からの預かり金の横領等
その他	報告が必要と認められるもの	・利用者の保有する財産の滅失等 ・ケガはないがトラブルに発展



報告の流れ

01

遅くとも 事故発生から **5日**以内

第一報

事故報告書に可能な限り記載し報告

02

経過報告

その後の経過について 事故報告書を用いて 順次報告 03

最終報告

再発防止策をまとめ、 最終の報告



事故報告書作成に当たっての注意事項①

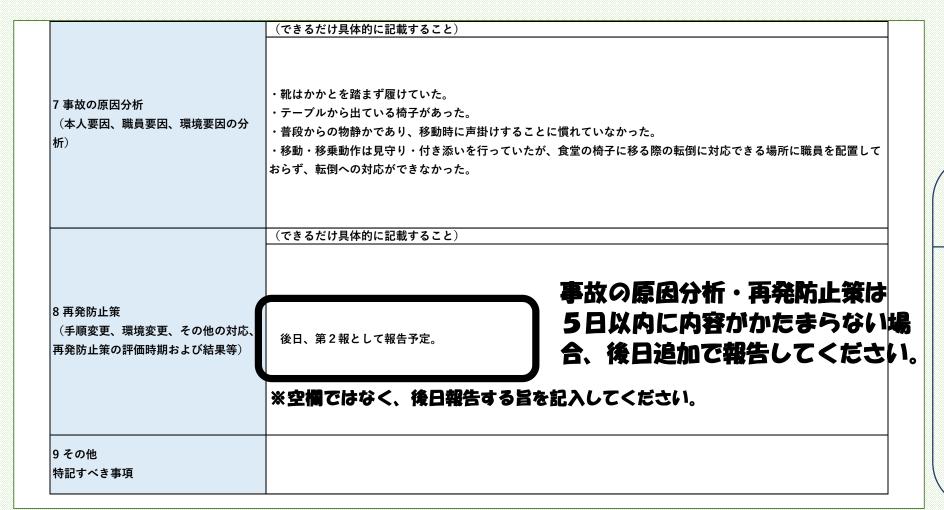
	※第1報は、少なくとも ※選択肢については該当	1から6ま する項目	でについては をチ <u>ェックし</u>	可能な[、該当す	限り記載し、 ⁻る項目が複	事故発生 数ある場1	一 中でったい	一部 インエ	5 H D X X X H :	로(" 그무 내 ㅠ)	ステン	終報告
	■ 第1報			□ 第報 □ 最終報告					提出日:西暦 2023年 1月 1			
	事故状況の程度	_	受診(外米·在 処置	診)、目	施設で心急		入院		死亡		その他()
	死亡に至った場合 死亡年月日	西暦		年		月		B				
2	法人名	00株式	〇〇株式会社									
事業	事業所(施設)名	グループホーム〇〇							事業所番号	230000000		
所の概	サービス種別	認知症	認知症対応型共同生活介護						電話番号	000-000-0000		
	所在地	○○市○○町○○丁目○○番地 追加項目 个										
	氏名・年齢・性別	氏名	広域 太郎			年齢	80	Z	記れず	こ記入	してく	ださい。
	生年月日・被保険者番号	西暦	1942	年	12	月	26	日	被保険者番号		000012345	5
_	サービス提供開始日	西暦	2020	年	5	月	20	日	保険者		知多北部広域	連合
3 対	住所		事業所所在地	と同じ		その他		ı)
者			要介護度		□ 要支援1	□ 要支援2	□ 要介護1	□ 要介護2	■ 要介護3	□ 要介護4	□ 要介護5	自立
	身体状況 		認知症高齢者									



事故報告書作成に当たっての注意事項②

5 事 故	その他 特記すべき事項 発生時の対応	バイタルサイン測定 血圧:160/100mm H 12:55 救急車を電記 13:05 救急車で搬記 13:20 ○○病院に3	き 舌で呼ぶ 送	90 体温	:36.8度	ξ	- ご家族への報告状況(いつ、誰何を伝えたか)や反応は、5事発生時の対応や6事故発生後の況に適宜記入してください。					
発 生	受診方法	□ 施設内の医師	受診)医師(配置医含む)が対応 ロ (外来・往					救急搬送		その他()	
時	受診先	医療機関名		00	病院		連絡先	(電話番号)		0000-00-0000)	
の 対	診断名		右大腿部頸部骨折									
応	診断内容	□ 切傷・擦過傷 □ その他(•	骨折(部位	<u>:</u>	右大腿部)				
	検査、処置等の概要	○/△退院予定										
6 事	利用者の状況	普段は独歩。最近ふら もらい、付き添いする ご家族に電話し救急機 謝罪を行った。	こととして	いた。					-,			
故発	家族等への報告	報告した家族等の 続柄	■配	偶者		子、子の配	偶者		その他(_)	
生後	W. C. C. TA LI	報告年月日	西暦	2023	年	1	月	17	日			

事故報告書作成に当たっての注意事項③





再発防止策に記載する事項

- ①普段の状況
- ②事故の要因
- ③その要因は どのように 発生するか
- ④要因を発生 させないための 対策



地域のくらしを支えあう介護保険 知多北部広域連合

事故発生の防止に向けて

- ≪再発防止策検討ポイント≫
 - ① 利用者の普段の状況・状態はどうか
 - ② 事故の要因は何か(人的要因、環境要因)
 - ③ 事故の要因はどのように・なぜ発生したのか
 - ④ 事故の要因を発生させないためには何が必要か

ヒヤリハットの収集は十分ですか? 事故防止対応マニュアルは生きた内容になっていますか? 利用者の心身の状況の情報共有は出来ていますか?

今一度、事業所内の対応を見直してみてください。

